



哲學研究

第四卷 第六册

第三十九號

大正八年六月一日發行

大正五年四月六日第三種郵便物認可

大正八年五月二十七日印刷納本(每月一回一日發行)

讀み方の難易に關する實驗に就いて……………

……………文學博士 野上俊夫

意志の内容(完結)……………文學博士 西田幾多郎

無意識(承前)……………文學士 千葉胤成

カントの歴史哲學(承前)……………米田庄太郎

ケール博士論文集……………文學博士 深田康算

彙報……………

新著紹介……………

京都帝國大學文學部

京都哲學會

雜
209

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
寶嚴方治	

書記

由來起信論研究は通常大乘佛敎の研究を意味すと言はる、今や起信論研究の聲四方に擧がれるの時、さきに醍醐慈明氏の大乗起信論精義出で、今又村上博士の本書出づ、佛敎界乃至我國思想界にとりて誠に慶賀すべき現象である。

本書は今より十年前の起稿にかゝり通俗を目的とし一たび講義録として世に公にせられたるものか、今度境野黄洋氏が加筆補訂して出版せられたものである。目次、緒言(一)原著者の人格、(二)著作の時代、(三)馬鳴の著作、(四)本論の翻譯、(五)著作の意趣、(六)著作の依據、(七)本論の大意、(八)譯後の傳播、(九)諸宗の批評的判斷、(十)註釋の選擇。本論内容解釋。

本論の著者を以て馬鳴とせる事や、隨つて起る考證批判の問題に就ては今日之を事新らしく述ぶる事を略する、「諸宗の批評的判斷」一章これ初學者の以て参考に資するの價値あるを認める。

さて本論の本文内容解釋に移りては、一々の本文を順次に分節分項し、反復叮嚀詳細なる解釋を附し、本論關係の諸書を參涉し、或は煩雜なる思想内容を圖解し或は表示し、極めて通俗的に説述

されてある、特に各項殆どその下に「參考」なる一欄を設け能くその内包の意義を判別し、論題を設けて重要の義を論談し、學者の便に供せられたるは誠に親切なそして有意義な方法であると信ずる、佛敎初學者の者にとりて一好著であると言ひ得るであらう。東京丙午出版社發行、定價壹圓參拾錢、(本田義英)

寄贈書籍雜誌

- 佛心鬼語 高島米峰著 丙午出版社
- 大乘起信論講話 文學博士 村上專精著 同
- 哲學雜誌、心理研究、丁酉倫理講演集、東洋哲學、六合雜誌、東亞之光、無盡燈、六條學報、早稻田文學、學校教育、教育、内外教育評論、國民教育、教育學術界、教育界、教育研究、教育時論、現代教育、東京教育、奈良縣教育、靜岡縣教育、近江教育、岐阜縣教育、三重教育、愛知教育、信濃教育、佐賀縣教育、藤備教育、長崎縣教育雜誌、宮城教育、秋田縣教育雜誌、

前號目次

F. M. Urban 氏の精神物理學的方法と其應用	文學士 岩井勝二郎
意志の内容	文學博士 西田幾多郎
無意識	文學士 千葉胤成
戒律の社會學の見解	文學博士 谷本富
心理的非心理的	文學士 務臺理作

會 告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
文學部内 振替口座大阪參〇六六參番

價 定

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	貳拾五錢	金	壹
六冊	冊	金	壹圓五拾錢	不	申
十二冊	冊	金	壹圓	不	申

廣 告 料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

註 文 規 定

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候
- ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正八年五月二十七日印刷納本
大正八年六月一日發行
第三十九號 第四卷 第六册

京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

右代表者 寶嚴方治

發行者 大葉久吉

印刷者 青柳十一郎

印刷所 秀英舎第一工場



發 行 所

東京日本橋區本石町三丁目
(振替口座東京二八〇番) 寶文館

發 賣 元

東京市日本橋區本石町三丁目
大阪市東區淡路町四丁目 寶文館

賣 捌 所

- (東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
- 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館
- (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

元東京帝國大學助教授
文藝博士
福來友吉著

心理學審義

本書は最近著者が斯學を更に一層深く考究して大成せられたるものにして、心理學に關する一切の事項を網羅せり。論理の卓越なる譬喩の適切なる、引例の豊富なる、而して新學說にて經緯せられたるの一特色は、類書中比なし。

布裝 全一冊
定價金四圓八拾錢
送料金拾六錢

心理學講義

本書は斯學のオソリチーたる著者が、多年研究の結果公にせられたるものにして、叙述平易、論議明確、在來の類書と全く其の撰を異にせり。初等・中等の教育に従事せらるゝの士及び文檢受験者を始め、政治家・法律家・醫家・必讀の名著なり。

布製 全一冊
定價金參圓五拾錢
送料金拾貳錢

東京・寶文館・大阪